

七高生と合同園芸活動

利用者待望の恒例行事 晴天に恵まれ開催



はんの木だより
2015年
第59号
 社会福祉法人美土里会
 青森県上北郡七戸町寒水 70-17
 電話 0176(62)2761



デイサービスセンター 梓

七月二十二日、青森県立七戸高等学校（以下、七戸高校）と、美土里荘デイサービスセンターと、梓を初め各事業所ご利用者との、合同園芸活動が行われました。この行事は七戸高校からの呼びかけで始まったもので、毎年この時期に行っています。



色鮮やかなケイトウはご利用者にも好評

この日は美土里会はじめ町内外の介護事業所で実習をしている福祉健康系列の三年生が九名、きれいな花を育ててくれた食品化学系列の三年生が十九名、引率の先生方七名の合計三十五名が来所。今回頂いた花は、黄色やオレンジが目を引くマリゴールド、赤やピンクなど色鮮やかなケイトウ合わせて何と八百株！それらを一一つ、丁寧に植えていきました。

利用者の皆さんは、農業に関わったり、今でも畑で野菜を作っている方が多く、生徒から苗をもらう前に「早くこつちやけろ」「ここさ花ねえぞ」と催促し、苗を受け取るそばからどんどんと植えて行き、生徒や先生方を圧倒していました。

福祉健康系列の生徒はさすが介護福祉士を目指して勉強をし

ているだけあって、付き添ったご利用者に積極的に話しかけて和ませたり、「足もとに気をつけて下さいね」と声をかけて安全に配慮するなど、頼もしい面が見られました。また食品化学系列の生徒も、ご利用者と一緒になって花植えをしながら「早くてびつくりした」と驚いていました。また当日は、東奥日報とデリー東北の記者が訪れ、園芸活動の様子を写真に撮ったり、ご利用者や生徒にインタビューしていました（デリー東北は七月二十五日、東奥日報は八月四日にそれぞれ紙面掲載されています）。

ご利用者・七高生が一緒になり、終始和気あいあいと行われた今回の園芸活動。約三十分であつという間に植えてしまい、手を真っ黒にしながらも満足そうでした。ご利用者は口々に「楽しかった」「また来年もやりてえな」と笑いながら話していました。

地域交流・世代間交流を目的に毎年実施している、この合同園芸活動。ご利用者の希望がある限り、続けて行きます。またこの他にも、積極的に地域に出たり、交流を図りたいと思います。



結核勉強会開催

先日、上十三保健所の中山朋子所長を講師に迎え、結核についての勉強会を開催いたしました。五十年前までは死亡原因の第一位だった病気ですが、今も一日に六人が命を落としている重大な感染症です。過去の病気と思われがちですが、高齢者はほとんどの方が結核菌を体にかけています。若い時に日本で結核が蔓延した時に感染しています。免疫力が低下した時などに発病し、一度感染したら体の中から結核菌をゼロにすることはできません。しかし、注意を正しく知り行動していればそれほど怖がる病気ではありません。二週間以上咳やタンが続くようでしたら、医療機関を受診しましょう。結核と診断されても、六ヶ月間毎日きちんと薬を飲めば治ります。自身の重症化を防ぐため、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも、早期発見が重要です。結核は「空気感染」する病気です。咳が出る時はマスクをつけることを心がけましょう。



お年寄りを元気に！介護力向上の取り組み

今の日本は高齢社会と言われています。介護が必要な方はどんどん増え、在宅での介護に悩んでいる家族の方もたくさんいます。介護保険制度が今の日本の介護を支えています。施設の不足や介護従事者の不足などの悪循環があり、本当に困っている人を助けることが出来ていない現状があります。そんな介護保険制度を利用できている人は、介護保険を払っている方のうち、なんとたったの一八%しかないそうです。そこで、「介護力向上」の取り組みです。介護が必要になってしまった方々を元気にして、自宅で生活できるようにしてしまおう！困っている方々を助け、施設で元気にして自宅に帰れるようにしよう！その為のケアを考えるのが、介護力向上委員会です。一言で「介護力向上」と聞くと、「それってどういうこと？」と感じると思いますので、簡単に説明をさせて頂きたいと思っています。

我が法人では、三年くらい前から全国老人福祉施設協議会主催の介護力向上講習研修会に参加しています。これは「歩けない人は歩けるようになり、認知症の人は症状が改善され、普通の食事を食べられない人が食べられるようになって、オムツも使わない元気なお年寄りになれるよ！」という内容のものでした。第一に欠かせないのが「水分」。人は一日に一五〇〇。〇の水が失われており、水を飲まない知らぬうちに脱水状態に陥っているそうです。そのぶんの水を飲むだけで、色々な症状が改善されます。実際に、我が施設でも取り組みを行って、いつもポヤッとしていた方が、シヤキツとなり、表情が良くなる例もありました。

次に必要なのは「排泄」。施設ではオムツをしている利用者の方が少なくありません。しかし、オムツをすることで、常に眠そうにしていたり、反応が悪くなったりします。次のステップである歩行を行うためには改善しなくてはいけないことでした。そして、次に必要なのは「運動」。施設では歩く練習を行いました。すると立つことがままならなかった方が立てるようになり、歩行器を使って、歩くことが出来るようになりました。オムツを外して、トイレで用を足すようにし、水を飲んでもらうだけで、歩けない人が歩けるようになったのです。つまり介護力向上とは、「弱くなってしまうお年寄りを以前の状態に戻す」という取り組みと言えます。



今後、お年寄りが元気になる方法について学ぶことで、本当に介護が必要で困っている方々を助けられるよう頑張っていくことが必要だと感じています。これからも、美土里荘ではこの取り組みを行って、「一人でも多くのお年寄りに元気になって頂き、人間としての本来の意味での尊厳を守る！」という思いのもと、頑張っていく予定です。今後とも、よろしくお願いたします。



九月二十日は南部町パノラマ果夢園に桃狩りに出かけました。毎年行っている行事のため、ご利用者は楽しみにしている方も多くいました。天候には恵まれませんでしたが、自ら採り、食べた桃の味は最高！天気になることを祈りつつ、来年もぜひ行きたいと思っています。これからも、ご利用者の気分転換になる行事や、レクリエーションを行い、楽しみを持って生活出来るように援助して行きたいと思っています。

事業所通信

特別養護老人ホーム美土里荘

特養では、月に数回ではありますが、違った環境で食事をする事による気分転換と、ご利用者自身の好きな物を食べてもらう目的で、外出事を行っています。

七月から九月まで、道の駅おがわら湖、かつぱ寿司、八食センター、レストラン『ぼんと正月』、まるまつに外出に出かけました。大人数での参加は難しいため、少人数でゆつたりとした雰囲気での出かけとなりました。「おいしかった」「来られて良かった」「また来たい」とご利用者からは好評でしたので、これからも続けて行きたいと思っています。

八月二十日には七戸町屋内スポーツセンターにて、福祉大相撲七戸場所が開催されました。ご利用者五名が見学に行き、「迫力があつた！」と話されていました。有名な力士と一緒に写真を撮ってもらった方もおり、貴重な経験に感動されていました。

九月四日・六日はしちのへ秋まつり見学に出かけました。天気も悪く、体調を崩さないか等心配はありましたが、年に一度の祭りなので少人数ずつ、二回に分けて見学に出かけました。太鼓や笛の音を聞き、山車を見て昔を思い出したりと、ご利用者の良い表情が見られました。

九月二十日は南部町パノラマ果夢園に桃狩りに出かけました。毎年行っている行事のため、ご利用者は楽しみにしている方も多くいました。天候には恵まれませんでしたが、自ら採り、食べた桃の味は最高！天気になることを祈りつつ、来年もぜひ行きたいと思っています。これからも、ご利用者の気分転換になる行事や、レクリエーションを行い、楽しみを持って生活出来るように援助して行きたいと思っています。



しちのへ秋祭りにて



福祉大相撲七戸場所



まるまつでランチ

編集後記

七月はうだるような暑さだったのが、八月に入ると雨ばかり。過ごしやすくて良いと思いきや、九月になっても天気は回復せず。久しぶりにお日様が顔を出し、二三日天気が続く予報が出たので、思いきってお昼休みに洗車をした。午後から雨降りになりました(涙)。天気予報はあてになりません。十月に美土里荘フェスティバルがあります。その時はどうか晴れますように！(手代森)

お問い合わせ先：〇一七六六二二七六六(担当：新堂)

訪問介護事業所

こんにちは！美土里荘訪問介護事業所です。私たちヘルパーは、町内のご利用者の自宅へお伺いし、介護や生活援助のサービスを行っています。事業所では、サービス向上のために、(一)訪問介護員の態度、(二)訪問介護以外のサービスとの連携、(三)ご家族への対応、という項目でご利用者より毎年度アンケートを実施しておりますが、皆様から良い評価を頂いています。私たちはこの評価に甘えることなく、気を引き締めて「住み慣れた自宅で安心して暮らしたい」という願いにお応え出来るよう、またご本人の望む生活に近づけるよう、お手伝いさせて頂きたいと思っています。

グループホーム櫟



九月二十五日に敬老会を行いました。まず表彰式が行われ、百歳以上の方二名、九十歳の卒寿の方四名をお祝いしました。表彰状とお祝いの品を受け取られた皆さんは笑顔が見られました。とても和やかな表彰式となりました。その後会食し、豪華な料理に舌鼓を打ちながら、職員の工夫を凝らしたアトラクションやご利用者